

つながり合ってともに創ろう これからの多摩市



誰もが主人公で
つながりあう
協創ってどういうこと？

地域のつながりで起きる
感動や気づき、対話などを起点に、
これからの多摩市を
ともに描くことですよ



あなたが誰かとつながって起きる、小さな

ちょっとした感動

なげない会話

ふとした疑問や気づき

日常で出会う疑問や感動からはじめてみよう！
互いに支え合い、つながり合うことで
誰もが自分らしい暮らしが拡がり
これからの多摩市がもっと
カラフルになっていくかも！？

「まち」とゆるく関わりたい！
地域の子ともと遊ぶことも
地域活動の一步



Q 地域とのつながりを持つことになったきっかけは何ですか？

多摩市での日常生活に満足している一方で、もう一歩、地域と関係を築くことにより新たな発見があるのではないかと思います、自治推進委員会の委員に応募したことです。

Q 都心勤めの合間に地域と関わる中で、苦勞したことや課題に感じたことは何ですか？

やはり、仕事や家族との時間のバランスですね。地域でやりたいことや参加してみたい魅力的な活動はいろいろあるのですが、時間を確保できないのが悔しいです。周りにもそうした方は多く、そもそも情報がきちんと届いていないのではないかと感じました。

Q 地域と関わりを持つようになったことで、得られたものはありますか？

自治推進委員会を通して地域の人や活動を知り、つながりができたことで、以前からやってみてよかった、地域の方と交流しながらのごみ拾いや清掃活動を実現することができました！ また、活動をきっかけに仕事の考え方や視野が広がり、担当業務の役に立った他、多摩市をフィールドとして自社のイノベーション推進部署との連携を始めました。

Q 今後地域でやってみたいことはありますか？

100の地域活動をする1人より、1の地域活動をしている100人がいる多摩市になるといいなと思います。例えば、ごみ拾いの活動を発展させて、個人が同じ色のごみ袋を持ち、ウォーキングや犬の散歩がてら好きな時間にごみ拾いをやってみるとか、普段の生活の中で無理なく取り組める地域活動を増やしていきたいですね。

市民のアクションが街の
未来をつくることを実感！
市職員としてもっと応援したい

対話やアクションを起こしてくださる市民が増えることに街の未来を感じます。目の前で起こる行動は小さなキッカケに過ぎないかもしれませんが、行動を起こした人も、関わった人も、新たな気づきや出会いが生まれています。出会いやつながりを楽しみながら多摩市らしい地域社会をともにつくりていきたいと思います。



さあ あなたも

が、これからの多摩市らしい彩りをつくる

災害時にこの子と
どう避難すればいいの
周りの人と話す場が欲しいな

?



でもどうやって???
そんな時、若者会議を
知りました

地域の人と関わる中で
自分では思いつかなかった
考えが聞けて
新たな発見があったり
刺激がいっぱい

困りごとを共有して
地域も自分も前進すると
感じるよ

!

交友関係が広がって
次から次へやりたいことが
生まれて、目標もできたよ

簡単なことではないけど
これからの地域の課題を
自分ごととして、住みやすい
まちにしていけたら



ペットと一緒に
安心して暮らせる
地域にしたい!



Q 地域とのつながりを持つことになっ
たきっかけは何ですか?

災害時のペットとの同行・同伴避難について、自分の住んでいる地域の方と話す場が欲しいと思ったことがきっかけです。

Q 地域で活動するにあたり
苦労したことはありますか?

自宅エリアでの自治会活動が少なくて、地域への入り方が分からず苦労しました。たまたま目にした多摩市若者会議に参加して、多くの出会いがありました。興味を持たれた方は、ぜひ参加してみませんか?

Q 活動を通して得たものは何ですか?

多摩市若者会議をはじめ、地域の方と関わることで、「同行・同伴避難」だけではなく、自分や仕事仲間では出てこない「在宅避難」などの新しい考えが聞けたことです。地域とつながることで、次から次へとやりたいことが生まれてとても刺激になっています。

Q 今後やってみたいことはありますか?

動物と暮らしているけれど、自分だけでは満足にケアをしてあげられない状況の方と、動物と暮らしたいけれど、事情により一緒に暮らせない方のマッチングなど、人と人をつなぐことで困り事を解決していきたいです。

高校生も街との関わりが楽しい!
いつか恩返しができるよう
学んでいきたい

市役所の人との対話や街なかでのプレゼンで頂いた意見など、親や先生以外の、様々な職業の方と話し、具体的な実現策を考えることで、少しずつ考えていることが実現に近づいているような感覚に楽しさを感じました。

こうした楽しさや興味から、まちづくりに関する活動に積極的に参加するようになり、新しい知識を得ることができました。こうした経験をさらに将来に活かしていくために進学して、最終的には、これまでの経験に対する恩を多摩市に返していきたいです。



はじめてみよう



地域協創への想い

誰もが尊重され、ここ多摩市でいきいきと暮らしたい。協創という言葉にはそんな想いが込められています。

多摩市では、平成16年に制定した「多摩市自治基本条例」の規定に基づいて、市民主体のまちづくり、市民と行政とが協働したまちづくりを進めてきました。しかし時代とともに社会課題の変化や個人の置かれた状況が大きく変わってきています。

そこで、これまでの参画や協働に加えて、協創のまちづくりがスタートします。

子どもからシニア世代まで、子育て中や働きながらも、また、従来は支えられる立場にあった人たちも含めて、「誰もが」まちづくり活動に参加でき、それが楽しいと思えるような、そのための「しくみやしかけ」が「地域協創」です。そのお手伝いを新設した協創職員が中心となって担います。

自分らしいペースで楽しいことに取り組み、周りの人を誘い合わせていく「協創」を通して、毎日にうるおいと安心と彩りを。それが持続可能なまちにつながっていきます。

なぜ必要なの？ [背景]

2004年（平成16年）に制定した「多摩市自治基本条例」に基づき市民主体のまちづくり・市民と行政とが協働したまちづくりを推進



約20年が経過

高齢化の進行

ライフスタイルや働き方の多様化

地域が抱える課題の複雑化
＋コロナ禍

なぜ必要なの？ [課題]

！...？ はあるけれど、次世代の活動を担ってほしい世代と繋がらない



くらしの中で起こる！
...？ はあるけれど、それを話したり、やってみたいことを伝える相手が見つからない

協創ってなあに

キーワード

! 多分野

? 多世代

? 支えられる立場でも

... 楽しい

! 誰もが主人公

! 支える

? 地域課題解決

... つながる

... 多摩市らしさ

! 新たなまちの魅力

? 掘り起こす

! 10 の活動をする 1 人より、
1 の活動をする 10 人へ

... 地域共生社会

... 地域価値創出

こうだといいな協創のまち多摩の私たち

- やってみたいことがある。老若男女誰でもが
- 困ったときに相談できる相手が近くにいる
- 困りごとを解消するつてがある
- 同世代以外にも頼りになる知り合いがいて、さらにその先に頼れる知り合いがいる
- 年齢や経験、ハンデの有無に関係なく、やりたいことを進められて、それが地域の魅力創出にもなっている
- 地域に関わることが、個人のメリットにもなっている
- 多摩市のファン、まちのファンがたくさんいる

こうだといいな協創のまち多摩市



地域に関わることで自分自身も周りのみんなも幸せに。

支える、支えられる関係性を越えて、たとえ当事者であっても参加できる、声をあげられる、声を届けられる。そして支える側に立てる。



つながりあう持続可能な多摩市を築いていくための しゅくみ

将来
目指す

協 創

将来的には地域課題の解決や、新たなまちの魅力、
地域としての価値の創造につながっていくことを目指します。

3つの柱

地域を
支える
人々の
活動を
応援

地域を
つなぐ
人や活動が
つながる
機会づくり

地域の中で
掘り起こす
新たな
人材の
発掘・育成

1

仮協創職員制度の導入

協創スタッフ(専任)、
協創サポーター(若手職員)の配置

2

中間支援機能を担う団体
による伴走支援

地域発の多様な活動を、地域協創スタッフのアドバイ
ス・コーディネート・プロデュースのほか、中間支援機
能を担う団体のネットワークなどで実現

3

多活動マッチング型の
地域プラットフォームづくり

地域で活動する組織・団体の再編成、多世代への呼び
かけによるエリアミーティングの開催、多様な活動の
マッチング

4

地域共助が可視化できる
ツールの導入

IT ツールを活用し、地域参加をポイント化するなど、
可視化し、そのポイントを地域で地域通貨として使用
できるしゅくみを導入することにより、大学生や若い世
代の参加促進につなげる

地域協創

行政が中心となり環境整備する 4つのしゅくみ・しかけ

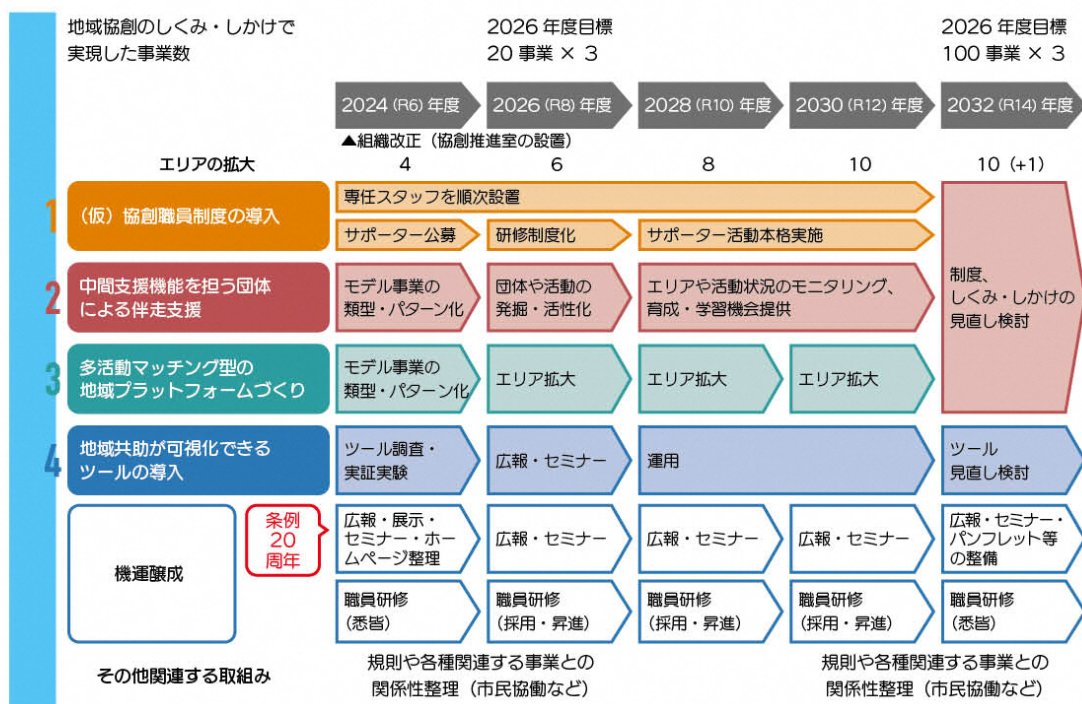
子どもからシニア世代まで、子育て中や働きながらも、また、従来は支えられる立場にあった人たちも含めて、「誰もが」まちづくり活動に参加でき、それが楽しいと思えるような、新しい「しゅくみやしかけ」を市民、中間支援機能を担う団体など様々な主体とともに、行政が中心となり環境を整備(3つの柱、4つのしゅくみ・しかけ)します。こうした「協創」を実現するために整備するしゅくみ・しかけを「地域協創」と呼びます。

・しかけや考え方



未来志向で地域のことを世代間で話し合うことが楽しい。これまでこうした機会がなかったのでまた参加したい。

地域協創の取組みロードマップ



総合計画との連動

第六次総合計画

基本構想

まちづくりの基本理念

「多摩市らしい地域共生社会の実現」

基本計画

政策 C 施策 3

「多世代共生型のコミュニティづくりの推進」

※国等との施策とも連動

ex) 3 2 次地方制度調査会答申「公共私連携」

自治基本条例

私たちが多摩市のまちづくり(自治)を進めていくための最も基本的な考え方(理念)と、それを実現するための具体的な取り組み・方法(行動原則)を定めた市の最高規範です。この条例を基に、市民参画・協働によるまちづくりをこれまで以上に進めています。



NEW (協創を追加)

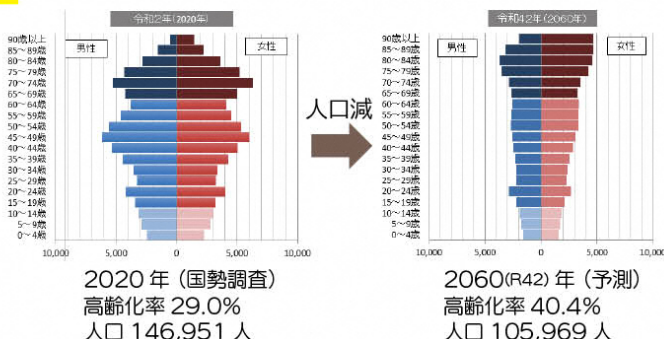
多世代にわたる参画及び多分野における協働が創出されることで、誰もがつながり合えるコミュニティが形成され、これが広がりをもつことによって、様々な地域課題の解決が図られるとともに、新たなまちの魅力及び地域の価値が創造されることをいいます。

<https://www.city.tama.lg.jp/shisei/keikaku/kyodo/jorei/index.html>

多摩市について

暮らしにいつも NEW を！

<https://www.city.tama.lg.jp/shisei/profile/shokai/index.html>



地域協創の取り組みの詳細

多摩市自治基本条例改正案(素案)に関するパブリックコメント・市民説明会を実施しました。

<https://www.city.tama.lg.jp/shisei/keikaku/kyodo/jorei/1013551.html>



さあ一歩踏み出そう

まずは近隣のイベントに参加したり、自治会や趣味のサークル、清掃活動など、できることから始めてみませんか？
近所の方や友人と誘い合わせて出かけるのもいいですね。
市内には、さまざまな分野で活動している団体があります。

多摩市若者会議



多摩市市民活動情報

